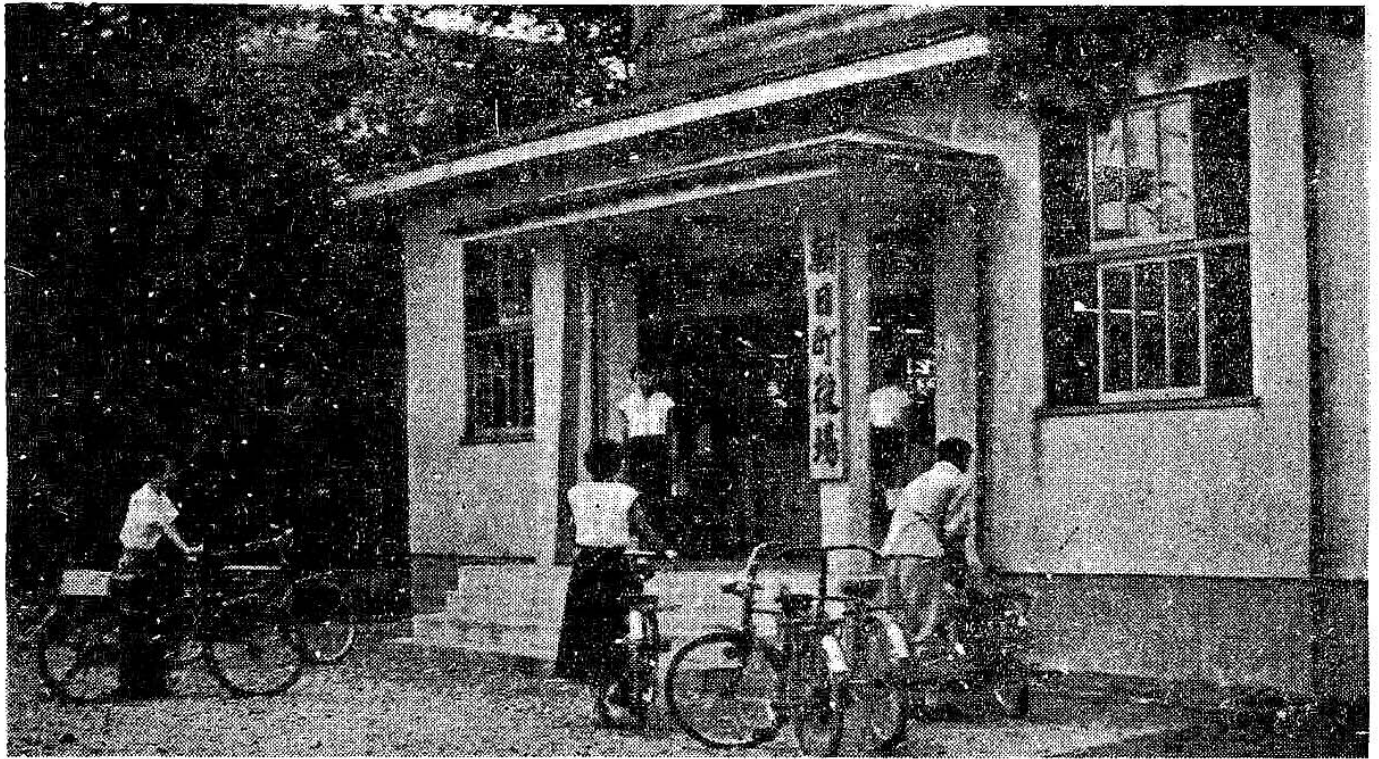


あさひ

第2号



昭和 3 0 年 8 月

(朝日町発足一周年記念号)

朝日町の展望

新生、朝日町の誕生……

町村合併促進法に基き、住民の輿望に添うて、舊泊町、境村、宮崎村、南保村、五箇庄村、大家庄村、山崎村の一町六カ村の合併成つて朝日町として発足したのは、昨年八月一日であつた。次いで野中村の編入合併が十一月二十日に行われ、こゝに一町七カ村の大朝日町が成立した。

東南に二十二村、南北に長く四十九村、面積、一三六平方村の行政地域に亘り、人口貳万四千七百七十二人、世帯数は實に四千八百八十五世帯と云う、大朝日町を構成したのである。これを業態別にすると、商工業に従事する者は一、五〇四戸、農家戸数は最も多く、二、五二九戸を数え漁業にたずさわる者二七八戸其他は五三八戸となつてゐる。舊泊町の中央部及其の隣接地区に連軒商工業地帯を見ろのみで、他地区に見るべきものなく、従つて、全世帯数の過半数を占める農業は、正に朝日町の主たる産業と云うべきであらう。

行政機構の上に於ては、本廳は一室(収入役室)四課(総務課、財政課、民生課、産業課)一局(教育委員会事務

局)と舊村部の七支所を置き町議會は四十人の町議會議員から成つて、大朝日町の行政が運営せられてゐる。

教育委員会は町村合併促進法の特例に依つて運営せられて來たのが七月廿日の施行の選挙の結果、新委員四名と議會議選出の委員一名を加え五名で以て運営せられてゐる。

文教の面では、小學校が九校(泊、境、宮崎、笹川、南保、五箇庄、山崎、大家庄、野中)に二分校(大平、蛭谷)を持ち、高等學校では泊高校がある。

社會教育施設では、町立泊圖書館、町立宮崎自然博物館及町立朝日町中央公民館、他二十一公民館(分館を含む)と公會堂がある。

觀光朝日町としては、文部省指定宮崎自然博物館を中心として小川温泉に連なる山海風光の地と、小川温泉元湯を起点とする朝日岳の觀光開發が前途に明るい希望をはらんでゐる。

朝日町発足後の一年は、新町建設の地ならしに終始したと云つた感があるが、やがて萌え出る新芽に朝日町住民二万五千の希望が大きくかゝつてゐる。

なお選挙資格申告書は九月十四日頃まで御手許に配付いたしますから有資格者はもれなく申告して下さい。



朝日町教育委員会委員選挙の結果に顧みて

七月二十日、朝日町発足後、始めての朝日町教育委員会委員の選挙が行はれた。中央、地方を通じて地方教育委員会の存廃が論議せられているときに行われた選挙であつただけに、又一町七カ村の合併後、当に町於ては、町村合併促進法の特例に則つて、七名(旧宮崎村は欠員)の委員に依つて朝日町の教育行政が運営せられて来た後を受けて、始めての選挙だけに、此の選挙を通じて果して朝日町住民が、どのような動向を示すかに大きな注目を呼んだ。

まず定員四名に対し、六名の立候補者を見た。とかく無競争当選になり勝ちな此の二の選挙としては、二名の定員増は、誠に喜ぶべき傾向であつた。選挙の結果は左の四名の新委員が当選確定した。

大森 政 治 (南保)
坂 東 久 松 (泊)
大久保五郎左エ門 (大家庄)
野 田 隆 俊 (宮崎)

次点 下沢三郎 藤田泰一

然しながら投票率の上から眺めた場合に、遺憾ながら六二・八三%と云うあまり喜ばしくない結果となつてあつた。勿論出稼者も相当数あつたであらうけれども、今年四月二十三日行われた県議会議員選挙の時の八四・九九%より遙かに下廻り昨年八月二十九日執行の町議会議員選挙の九二・八〇%より一七・九七%も下廻る低率であつた。此の結果に見る如く、朝日町住民の教育委員選挙に対して如何に無関心であつたかが如実に物語るものと云つて過言ではないと思ふ。

参考までに各投票所別の投票率を左に掲げておく。

新教育委員の組織委員会

(八月一日)

投票所	選挙者数	投票者数	棄権者数	投票率
大 家 庄	770	589	181	76.49%
山崎第一	863	685	178	79.37%
山崎第二	140	63	77	45.00%
山崎第三	146	109	37	74.66%
南保第一	570	222	348	38.94%
南保第二	613	390	223	63.62%
五 箇 庄	157	76	81	48.41%
泊	194	95	99	48.97%
宮崎第一	426	383	43	89.91%
宮崎第二	492	268	224	54.47%
境 第一	268	114	154	42.54%
境 第二	284	199	85	70.07%
野 中	657	322	335	49.01%
合 計	768	545	223	70.96%
男	2 001	1 188	813	59.37%
女	2 590	1 958	632	75.60%
宮崎第一	340	202	138	59.41%
宮崎第二	390	303	87	77.69%
境 第一	297	114	183	38.38%
境 第二	356	236	120	66.29%
野 中	384	169	215	44.01%
合 計	456	290	166	63.60%
男	85	37	48	43.53%
女	98	64	34	65.31%
野 中	527	185	342	35.10%
合 計	596	264	332	44.30%
男	6 622	3 664	2 958	55.33%
女	7 846	5 426	2 420	69.16%
總 計	14 468	9 090	5 378	62.83%

七月二十日執行の朝日町教育委員会委員の選挙に依つて新らしく選出された委員の初顔合せが来る八月一日教育委員会事務室で行われた。委員長及副委員長は委員互選の結果左の通り決定された。

委員長 坂東久松
副委員長 大森政治 (議会選出)

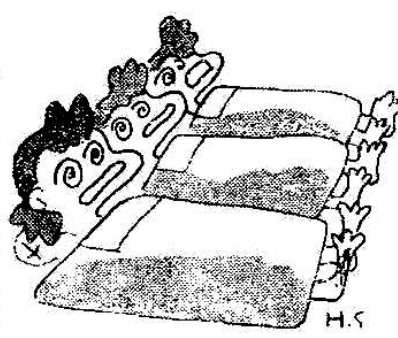
蚊と蠅のいない生活

民生課 舟本伊次郎

「うるさい」と言えば蠅を聯想し夏の夜と言えば蚊の煩はしさが思ひ出される。

妻が腕自慢のお料理も群がる蠅を見たときでうんざりする。又夕べの涼風を入れようにも戸外にひしめく蚊の襲撃を思ふ。うとうとかり戸も開けられない。蚊と蠅がいなくなつたら清潔で涼しい夏を過すことが出来るので

はないだろうか。蚊と蠅のいない生活、これは誰も希望することであろう。では蚊と蠅は絶対に駆除出来ないものなのだろうか。中国と蠅は余りにも有名で初めて中国に第一歩を踏み入れて、あの蠅の群集を見て嘔吐を催したの



単に出来る筈である、現に富山県下でも蚊と蠅のいない村や町が三十八カ所ある、近くでは生地、長屋、青木等があり、蚊と蠅のいないモデル地区と指定されそしてこれ等の市町

は私だけでは無いだろう、その蠅が中共政府になつてから一匹も姿を見せないといふ聞かされては、唯々驚かざるを得ない。中国と蠅はもはや遠い夢物語りである、だとしてれば傾斜が多く清流の多い日本で蠅や蚊の駆除が簡

長命を願うもの

民生課 舟本伊次郎

長生きはしたいものであることは誰しも共通した願いであるが、案外命を粗末にしておられる方が多いのに驚く、若いものゝ心巾ならウナづける点もあるが、伝染病で命を捨てたとなると馬鹿らしくて涙も出まいけれども本年脇チブス、パラチブスの予防接種を行つた結果から見ると大切であるべき命を粗末にしておられるように見受けられる。

下表は予防接種状況であるが、公衆衛生の点からも伝染病予防接種を重視して頂きたい

地区別	接種率 %	地区別	接種率 %
境	二二・三	南保	九一・三
宮崎	五二・二	大家庄	三九・二
泊	五九・九	山崎	七一・八
五ヶ庄	四四・六	野中	四四・九

尚、九月には種痘、十月にはジフテリアの予防接種を行う予定です。

村は二年後には全市全町の蚊と蠅をいなくすると思ひ込んでおられる。こうしたモデル地を訪れて駆除方法をきいて見ると、発生した蚊や蠅を駆除するより発生し易い場所を無くすることに重点を置き長屋地区では婦人会が新生活運動の一端として、台所改善より伝染病媒介の根源であるかと蠅の駆除が先決問題であるとして、婦人会員が、各自の家の便所の汲取口の密閉、下水溜、水溜り、みぞなどの清掃や雑草の刈り取りを行ったのだそうである。

発生源を無くすれば如何なる薬剤よりも効果的で自然にかや蠅が姿を消したとき遠くから舞いこんで来たものだけ薬剤で殺せばそれでよいのだそうである。各自の心懸け一つだそうである。

このように簡単に駆除出来ると思ふれば、他方を待たず、自覚一つで清々とした夏が過ぎるとしたら、朝日町もお互いの一寸した注意と僅かな努力でかや蠅の居ない清潔な生活が出来るのではないだろうか。

國勢調査



(總務課)

昭和三十年十月一日午前零時現在
により國勢調査が行われます。

國勢調査は、統計法の定めによつて
行われる國の基本的な統計調査で、
全國の人口の状況を調べ政治や行政
のための基礎資料となる統計をつく
るために行うものであります。

第一回の國勢調査は、大正九年に
行われそれから五五年毎にこの調
査が実施されて参りまして今年の國
勢調査は第八回目にあたり次の要領
で調査されることになっております

一、調査の範圍

十月一日に國內に住んでいる人の
全部（日本人はもちろん外国人も
すべて調査します。）

二、調査項目

1. 氏 名
2. 世帯主との続柄
3. 男女の別
4. 出生の年月日
5. 配偶の關係
6. 國 籍
7. 昭和十六年末までに生れた人
について就業状態、所屬事業所
の名称、所在地及び事業の種類
仕事の種類ならびに従業上の地
位
8. 住居に関する事項

三、調査の方法

調査は一世帯毎に別々の調査表を

用いて行います。

調査票は國勢調査員が各世帯を廻
つて配付致しますが内容は世帯主
（申告者）が記入する欄と調査員
が質問して記入する欄とがあり、
申告する者は世帯主又は代表者と
なっております。

宮崎支所

廢止について

總務課

去る七月三十日の朝日町定例議
會で朝日町役場宮崎支所を九月一日
より廢止することが承認された。

この廢止は宮崎地区住民の自發的
な協力によつて決定されたものであ
つて町村合併の趣旨を認識し、充
實



節約、行政事務の簡素化に協力され
ることに對し敬意を払われている。
朝日町は發足して茲に一周年を迎
えた、合併後まだ日が浅いにも拘わ
らず、去る四月末には行政整理を断
行して二〇余名の希望退職者を見、
機構改革による課の統廃合によつて
七課を四課とし、更に支所の廢止又

は統廃合が着々計画されている。

現在支所で処理されている徴税、
戸籍、諸證明事務並びに農委委員
事務等一步進んだ住民の協力によつ
て、支所が廢止されても、不便なく
円滑に運び、却つて支所の廢止によ



小團地開発整備実施地区

そして朝日町……指定

（産業課）

された。

朝日町の事業計画

灌漑排水	二三地区	二四四米
農道	一〇地区	三三〇米
暗き排水	三地区	二〇米
客土	五地区	三五米
林道	一地区	二九五〇米



稲の收穫始まる

早場地帯といわれるこの地方では
ぼつ／＼稲刈が始まつたが、朝日町
では野中地区今江梅津与一さんが八
月十七日早農林に一番乗りの鎌入れ
を行った。



米の 産業課 予約申込 について

農家の皆様は既に御承知の様に食
糧管理法によつて過去十年余り続け
られて来た供米割当制も食糧事情の
緩和と共に政府に於て自由販売制が

る節約経営によつて学校施設の整備
保育所の新設、道路網の完成等
より大きな住民の福祉増進が企図さ
れる。
町民各位の進歩的協力が切に要望
されている。

檢討されて居りましたが統制から自
販への切替へ措置として昭和三十年
産米は予約申込制（正確には事前売
渡申込制）と言つて農家の自主的申
込に依つて産米を政府へ売渡す制度
が実施される事になりました。
此の予約制に従つて先般米農家と
集荷業者の間に於て売渡契約が行わ
れて居りました所、左記の如き好成
績を見て居りますが本制度に依つて
売渡申込（八月末迄）をした場合は
予約しない米よりも高い値段（二石
当り一〇〇円）で買い上げられ、又、
石当り二・〇〇〇円の前渡金が支払
われる外、或る程度の免稅措置も石
当り一・四〇〇円も考へられて居り
ますから本年の收穫予想をも考慮の
上適正なる予約申込を切望します。
尚過去十年余の統制が近く自由販
売への政策転換期に際し将来の農村
恐慌に對処すべく農民の自主自立經
済の心構へを切に要望する次第であ
ります。

豊作 米 管理

春以来農民各位が丹精をこめて育
て来た稲作は、いに代前期より現
在迄順調なる天候に恵まれた事と施
肥の合理化、薬剤散布に依る病虫害
の防除、植付後に於ける管理の徹底
等町民の昼夜を分たぬ汗の努力が酬
いられた本年は近代稀なる豊作が予想
されて居り独り農民のみならず朝日
農民全体にとつて誠に喜ばしい次第
です。
此の豊作は全国的にも同様で農林
省の予想に依れば全國予想收穫量は七
・三〇〇万石位と推定され、又富山
県では昭和十五年以来曾つて記録な
き二〇〇万石の收穫量が予想されて居
ります。そこで朝日町の予想收穫量で
すが先般米の作状況より見て本年は
四万八千石突破は確実と推定され之
は最近七ヶ年平均收穫量四一・三〇〇
石の一四％に当り又最近七ヶ年中
最も豊作の二十九年産米四六・八〇
〇石の一〇三％に相当する收穫です

本年豊作

昭和三十年産米事前売渡申込数量			
地区名	予約数量	29年産米 供出実績	（八月廿日現在）
野中	4,728.70	4,379.66	
大庄	9,734.4	9,332.40	
山崎	4,524.0	4,632.00	
南保	1,150.4	3,701.22	
五ヶ庄	1,247.6	3,135.22	
宮崎	2,265.2	2,225.22	
境崎	482.0	445.29	
計	20,174.4	27,879.8	

本 議 会 議 員 名 簿
各 委 員

新生朝日町発足して既に
一年を経過した。我等の朝
日町の行政が、教育全般が
どのような機構で動いてい
るか、左にその一覽表を特
集して住民の皆様の座右に
供することにした。

役 場

町 長 金 森 吟
助 役 高 島 規 則
全 入 役 折 谷 芳 桓
収入役室長代理 水 島 登
總務課長 大久保 勝 伊
財務課長 藤 田 留 吉
民生課長 藤 条 昇 巧
産業課長 赤 川 重 次
教育課長 大 平 勝 雄
事務局長代理 清 水 民 夫
朝日町議会議員(定員四十名)
議 長 清 水 伝 平 大 家 庄

農 林 委 員 長

教 育 委 員 長

商 工 水 産 委 員 長

農林委員 中島 喜代次 山崎 茂吉
名越 茂吉
山本 豊太
長津 幸次郎
谷口 栄蔵
大森 善治 南保
松 原 茂
坂口 松次郎
中島 三郎
狩谷 常作
金井 憲治 五箇庄
追分 健作
高松 林松

副 議 長 米 田 吉 二 泊
總務委員 小 坂 順 三
阿 部 留 吉
水 下 留 吉
木 村 源 策
池 田 竹 次 郎
柚 木 文 次
大 村 房 次
大 橋 米 太 郎
村 口 清 次
上 島 栄 作
扇 谷 九 左 門 宮 崎
岩 谷 健 次
勝 田 忠 雄
小 林 邦 司
水 島 堅 治
根 建 義 盛
渡 辺 秋 男
山 岡 源 一 野 中
百 石 正 嗣
清 水 信 茂
大 野 龜 吉

建 設 委 員 長

文 厚 委 員 長

文厚委員 小 林 邦 司
水 島 堅 治
根 建 義 盛
渡 辺 秋 男
山 岡 源 一 野 中
百 石 正 嗣
清 水 信 茂
大 野 龜 吉

監 時 出 納 檢 査 立 會 議 員

朝日町監査委員 水 島 堅 治
小 林 邦 司
阿 部 順 三
高 松 林 松
坂 口 松 次 郎
石 井 茂 吉
名 越 茂 吉
朝日町教育委員 坂 東 久 松 泊
大 森 善 治 (議選)
大 久 保 五 郎 左 門 大 家 庄
野 田 隆 俊 宮 崎
朝日町選挙管理委員 河 村 峰 岳 泊
牧 野 六 郎 左 門 山 崎
高 田 啓 治 大 家 庄

朝 日 町 固 定 資 産 評 価 審 査 委 員

朝 日 町 農 業 委 員 會 委 員

朝日町固定資産評価審査委員 大 西 吉 次 郎 泊
水 野 甚 悦 山 崎
小 林 弘 南 保
朝日町農業委員会委員 山崎地区 永 口 謙 治 中 島 甚 吾
佐藤与三吉 森 岡 義 賢
稲 荷 二 三 眞 部 榮 作
新 田 良 治 水 野 文 太 郎
七 沢 景 明 水 野 修 八 郎
谷 口 宅 郎 水 口 忠 雄
久 我 口 由 政 青 島 源 次 郎
大 藏 案 作 長 田 解 造
谷 口 基 造 安 遠 三 郎
九 里 留 作 名 古 屋 三 郎
境地区 水 島 慶 治 大 平 半 四 郎
水 島 房 雄 水 島 義 一
水 島 芳 雄 根 建 森 熙
上 師 五 右 門 水 島 岩 太 郎
水 島 慶 作 末 下 俊 治
水 島 富 男 水 島 謙 三 郎
泊地区 山 崎 隆 平 坂 東 幸 太 郎
藤 沢 彦 平 大 村 太 吉
川 久 保 吉 太 郎 大 村 源 三 郎
梅 沢 信 作 米 田 吉 二
寺 崎 浅 夫 下 沢 梅 次 郎
魚 津 喜 助 椿 友 吉
岩 田 正 雄 平 坂 六 助
平 坂 米 山 竹 中 慶 太 郎
下 沢 留 松 岡 島 猛
寺 崎 関 次 郎
五箇庄地区 西 田 彦 衛 大 久 保 久 五 郎
近 藤 幸 太 郎 佐 渡 喜 八
数 家 善 次 追 分 市 郎
大 森 仁 太 郎 西 田 健 太 郎
吉 江 政 太 郎 永 井 豊 松
篠 田 宝 義 荒 尾 文 長
河 村 林 作 南 保 広 次
田 中 峰 次 広 幡 伊 之 松

長 谷 川 兼 次
追 分 健 作
長 井 岩 次 郎

南 保 地 区

大 家 庄 地 区

宮 崎 地 区

南保地区 谷 口 文 造 中 島 三 郎
窪 田 武 雄 勝 原 伊 次 郎
南 部 儀 市 谷 英 雄
中 山 一 次 中 島 安 平
清水 耕 作 谷 繁 松
大 森 勇 造 吉 田 賢 二
長 崎 仙 松 松 原 茂
長 崎 四 郎 平 近 藤 彌 右 門
坂 口 松 次 郎 越 間 耕 作
谷 勝 正 殿 村 一 郎
高 瀬 竹 松 伊 藤 俊 造
常 用 政 雄 高 田 一 六
鍛 冶 与 造 岡 田 新 作
由 井 理 廣 川 喜 章
杉 木 啓 作 藤 田 安 郎
藤 田 林 松 藤 田 隆 治
水 井 留 次 住 吉 啓 二
山 口 清 水 倫 造
廣 沢 三 郎 山 崎 繁 松
宮崎地区 小 林 一 夫 折 谷 健 造
折 谷 喜 重 長 井 佐 義
勝 田 忠 雄 長 井 利 一
竹 内 庚 之 助 折 谷 榮 蔵
竹 内 修 作 青 木 賢 治
水 島 榮 松 岩 谷 豊 治
竹 谷 直 一 松 本 貞 夫
嘉 義 新 十 郎 竹 内 益 太 郎
加 藤 重 作 浜 田 清 八
竹 内 彌 五 作 長 井 宝 得
野中地区 前 田 正 文 大 割 昇
江 畑 米 次 郎 川 瀬 袖 次 郎
小 川 清 造 幅 口 要 次 郎
窪 野 啓 二 稻 村 政 吉
田 中 吉 次 郎 百 石 正 一
富 山 周 作 酒 井 真 太 郎
山 岡 源 造 沢 本 啓 次
富 岡 啓 二 西 尾 三 郎

民 生 委 員 (◎印 常 務 委 員)

◎ 大 家 庄 地 区

◎ 山 崎 地 区

◎ 南 保 地 区

◎ 五 箇 庄 地 区

◎ 泊 地 区

◎ 宮 崎 地 区

◎ 野 田 地 区

◎ 境 地 区

◎ 野 中 地 区

◎ 大家庄地区 高 田 啓 治 広 沢 久 三
沢 田 幸 次 郎 小 川 ヨ シ
柳 沢 清 八 広 川 与 次 郎
大 久 保 雪 子
◎ 山崎地区 長 津 喜 久 上 村 市 兵 衛
谷 口 榮 蔵 久 我 口 茂 松
七 沢 景 明 秋 山 順 白
山 崎 禪 龍 下 坂 菊 雄
◎ 南保地区 下 坂 菊 雄 勝 原 林 次 郎
小 林 良 次 郎 谷 地 元 清 典
松 下 三 郎 山 本 六 市
堀 地 理 右 門 米 丘 二 太
近 藤 徳 信
◎ 五箇庄地区 ◎ 荒 木 太 作 金 井 龍 蹟
西 村 周 次 笹 原 才 太 郎
南 茂 正 子
◎ 泊地区 ◎ 伊 藤 率 坂 東 幸 太 郎
山 田 三 郎 小 西 ス エ
青 木 源 治 増 山 八 郎
梅 沢 幸 作 加 藤 た ま き
大 菅 佐 津 喜 下 沢 宗 行
水 島 勝 栄 水 野 す な
大 平 捨 雄 越 間 鐵 治
中 野 啓 三 郎
◎ 宮崎地区 竹 谷 太 右 工 門
◎ 野田地区 大 平 与 治 野 田 み ね
中 谷 松 之 助 加 義 新 右 工 門
折 谷 榮 蔵 小 塚 神 龍
折 谷 み どり
◎ 境地区 水 島 熊 次 郎 水 島 ス ミ
水 島 秀 範 島 マ ツ エ
根 建 豊 松
◎ 野中地区 沢 東 啓 次

社会教育発表大会

七月三十日午後一時より、泊公民館に於て、社会教育委員会が主催する、審議の結果、十月下旬、管内社会教育団体の社会教育発表大会を開催することになった。

各地区公民館、青年団、婦人会、体育協会等、社会教育団体がそれぞれ実施して来た活動状況を発表して、将来の社会教育活動振興に資するを、目的として行なうものである。

細部に亘つては企画委員会に附託して検討することになった。

第一回企画委員会は八月二十九日開催する。

公民館活動

- 朝日町観光協会役員
- | | | |
|-----|-------|--------|
| 会長 | 山本 正治 | 金森 史吉 |
| 副会長 | 富山 雅恵 | 川瀬 ひろ |
| 全 員 | 金 森 吟 | |
| 理事 | 清水 伝平 | 村口 清次 |
| | 金井 憲治 | 大森 善次 |
| | 宋田 吉一 | 渡辺 秋雄 |
| | 谷 建次 | 赤川 重次 |
| | 高島 規 | 楠木 武夫 |
| | 大平 勝雄 | 岡 慎一 |
| | 秋山 嘉久 | 愛場 賢二 |
| | 淡 嘉郎 | 折谷 芳桓 |
| | 谷口 栄蔵 | 福田 舜治 |
| | 中川 寛治 | 小杉 与四郎 |
| | 扇谷九左門 | 沢井 由松 |
| | 安村由之助 | 廣川 親義 |
| | 上島 栄作 | 高松 菊盛 |
| | 柳沢 良次 | |

宮崎公民館 奨学座談会

八月十日午後七時三十分より、宮崎小学校礼法室に於て、宮崎校下の高等学校及大学に在学する学生、生徒三十一名を招いて奨学対談会を開催した。

この催しは、義務教育の課程を終つて、高等学校や、大学に進学して勉学にいそしんでいる諸君を、夏季休暇に帰省している機会に招待して、夫々の学校に於ける状況など受けた奮闘を期待するもので、夏の夜の一時を愉快に談笑し、粗末ながらも、手土産を贈つて、お互の健康を祝福して解散した。

バレエボール大会

公民館では、青少年に健全な娯楽を普及することに依つて青年の育成

- 社会教育委員
- | | |
|-----|----------------|
| 議長 | 池原 啓三 |
| 副議長 | 富岡 啓二 |
| 委員 | 岡 慎一 |
| | 伊東 率 |
| | 水野 すな |
| | 九里 道守 |
| | 大森 政治 |
| | 名古屋 一郎 |
| | 朝日町中央公民館 |
| | 館長 大平 勝雄 |
| | 主事 大菅 達治 |
| | 朝日町中央公民館運営審議委員 |
| | 社会教育委員兼任 |
| | 各地区公民館 |
| | 境公民館長 土師 清彦 |
| | 宮崎公民館長 九里 道守 |
| | 菅川公民館長 竹内益太郎 |

大家庄公民館の動き

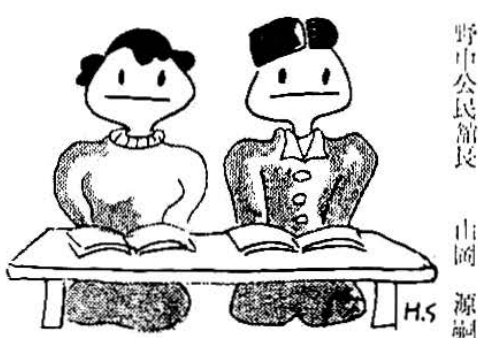
七月に引続いて男女青年学級を開校中であるが、本年の稲の成育は昨年より約十日間早く、お盆が過ぎる

高・中学生の校外補習に役立たせ、且は、社会体育の振興を計ろうと計画し、先程バレエの用具一式を購入し、青年団や壮年層、高中学校生徒に、バレエの普及につとめた。

その第一回試合は八月十四日午後一時より、小学校々庭に於て開催した。当日の成績は左の通り

高 校	2121	7 11	青年団
一 般	2121	1311	中 学
決 勝 戦			
◎ 高 校	2121	1310	一 般

尚、社会体育普及のためには、遠次一般住民にもバレエに親しませるよう啓蒙していきたい。



公民館活動

南保公民館長	大菅 達治
五箇庄公民館長	谷 恭文
大家庄公民館長	岡 久一
山崎公民館長	愛場 久太郎
野中公民館長	名古屋 三郎
	山岡 源嗣

恒例の宮崎浦漁業協同組合主催、朝日町観光協会後援の「浜祭」は去る七月十七日、絶好の炎天に恵まれ涼を求めて集まる若者方を数え、昨年に比べて二倍の入出であった。北日本放送の「歌謡コンクール」は特に人気を呼んだ。



地区「よ」

恒例の宮崎浦漁業協同組合主催、朝日町観光協会後援の「浜祭」は去る七月十七日、絶好の炎天に恵まれ涼を求めて集まる若者方を数え、昨年に比べて二倍の入出であった。北日本放送の「歌謡コンクール」は特に人気を呼んだ。

八月中行事

南保公民館

八月十三日	映写会
八月十五日	青年団体育大会
八月十八日	盆踊大会
八月十九日	農業視察
八月末定	敬老会
	高令者百五十余名招待
	新高令者八十才、八十才に記念品贈呈
	尚、石川教見師の講演
	余興として婦人会の奉仕による手踊
	講演会
	講師 地鉄芳組 広島茂一氏
	副委員長 婦人講座、生花料理を
	中心に。

で富山新聞社の小山巧氏を又八月八日には三枚橋分館へ雪山俊之氏を講師に招き、最近の時事問題とこれが時局に対する私共の心構へについて聴講する。

終りに地区休協の目ざましい活動振りも紹介致します。

前号でも一寸のべて置きましたバレエボールの普及は実に活発で、各町内のお宮の境内は皆んなバレエボールのコートになつて毎日午後や夜になると張りのあるにぎやかな笑い声流れていきます。

今日は家庭で親子や夫婦でバスしている人々も度々見受けられるようになりまし。

七月二十四日には郡体のバレエボール大会。

八月四日には大家地区婦人バレエボール大会が小学校の校庭で実に盛大に挙行され、いまや金山域内のすみとまで体育熱が普及され、毎日どこかでボールの上から下へは無いようになり予想外の成功に關係者は心から喜んでゐる。

七月三十一日 朝日町 婦人会総会 連合

講演、討論等活潑に終る

県立泊高校講堂に於て午前九時三十分より開会、開会宣言に続いて、富山県婦人の歌が出席全員の依つて合唱せられ、会長挨拶に続いて、来賓金森朝日町長、谷郡連婦副会長の祝辞があつて、昭和二十九年年度会務会計報告が行はれた。

ついで新役員の発表を左の通り行つた。

会長 水野 すな(再)
副会長 野田 みね(宮崎)
書記 谷 金 森 操
全員これを承認、金森操書記より昭和三十年年度予算案、及事業計画の説明あり、これを承認可決。

次は、富山県連合婦人会副会長石動町婦人会長 佐伯ゆき先生の「新生活について」と題する、当面の婦人の最も推進すべき、新生活運動について意義深い講演を聞いた。

中食後、今回始めて企画せられた「当面する婦人会の諸問題について」講師 佐伯ゆき先生司会のもとに各単位婦人会長よりそれ／＼次のような意見が述べられ、活発な討論研究が行はれた。

- 一、婦人会と会費 野田宮崎会長
- 二、会に出易いようにするには。清水大家庄会長
- 三、婦人学級をどうすれば盛んに出来るか。谷 南保会長
- 四、会合に出席しない会員をどうすれば出るように出来るか。折谷笹川会長

- 五、会合の服装について 根建 境会長
- 六、婦人会と社会福祉事業について 水野 泊 会長
- 七、婦人会の役員選出について。南茂五箇庄会長
- 八、婦人会の選挙について。田中山崎会長
- 九、新生活推進について結婚改善 富岡野中会長

朝日町連合 婦人会に出席して

暑い／＼炎天の日七月三十一日に開催されました。私は御蔭様で出席する事が出来まして感じました事、一端を述べさせて頂き、会場に満員の会員が出席されて大変は、笑ましい風景でございました。この婦人の愛の力、真心の結晶こそ偉大なるものであります。講師佐伯ゆき様の御話しの中に私達は生きる幸を見出す事、生活の反省、精神的物質的両面からの生活の改善、新生活について御話を承りまして心に強く感動されるものがありました。私達はお互に明るく、楽しい健やかな生活を営み度いものでございます。

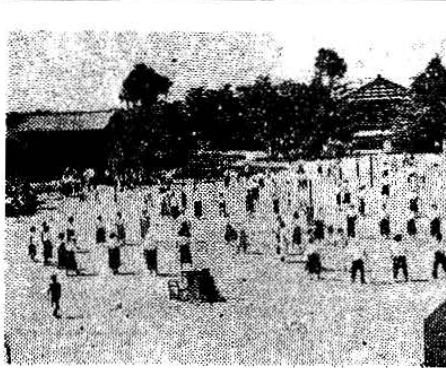
婦人団体のあゆみ

大家庄婦人会

有線放送を通じて、婦人会支部長さんの「部落の皆さんにお伝え致します。今日も昼休みの一時間お寺の庭でバレーを致しますから御家族揃つてお出で下さい」と放送される。

定刻一寸前頃からお寺の庭ではすでにボール、ボールとはじき上げられるあの心よいリズム、カールなボールの音が聞えてはもうじつとして居られず、とび出して行つて、パス練習の中に入る三三五五集まつて何時の間にか輪が二つに三つになつて、青い空に白いボールがあつち、こつちで上る。すべりこむセーフや、きれいなフォームをえがいて打つ人、隣同志しよう突して尻もちをつく人等、老若男女、親子入りみだれて一つのボールに全視線が集中して童心にかえり、ワア／＼、キャツ／＼、哄笑爆笑の内に予定の時間が来て、まだ名残り惜しいが明日を約束して解散、全身を流れる汗と此の疲労感に心よく午後の仕事に一段と生気をよみがえらせる。あるお嫁さんは、バレーをするのが楽しみで仕事に精が出る

又、午後の討論会も大変立派でございました本年始めて行はれた事で私達婦人会の進歩の程が伺はれ水野会長はじめ各部落の会長様役員方の御苦勞に對しまして深く感謝致します。会長は家柄財産に拘れず、實に人格を重んずべきであると感じました。どの部落の会長様も共に、こうして会運営の為に御心配して下さる事を思います時、私達会員は起つて御協力申し上げねばと、深く／＼心を打たれました。



と、又胃腸の調子がよくなつたと云われる中年の人、今まで言葉も交さなかつた人とも自然に親しくなり、人と人との融和がなり、なごやかな明らかなふんえきが村内にみなぎるような気が致します。農村の過重な毎日の労働は一方的に偏した運動が重なる為之が原因で腰の曲つた人や姿勢の悪い人、又若いのに体のあち

こちの痛みや、こりになやまされ農村人は他の人に比べて早くからしわがよつて更けてみつもなくなき之等をバレーをすることによつて全身の新陳代謝を旺盛にさせて心身ともに何時までも若々しく美しくしよう。日頃の労働でこりかたまつた部分を大いに伸して、誰にはばかることなく全身を、手の先足の先まで伸して堂々と胸をはつて、立派な姿勢で明るい健康な農村を作ろうと云う体協の計らいで練習を始めて、尚日が浅いのですが、尚一層盛んにする意味に於て、去る四日、小学校々庭で婦人部だけの部落別試合を行いました。十一部落のそれ／＼日頃お寺やお宮の境内で練習した腕前の見せ所と炎天下も何のその非常な盛大でした。最後の決勝戦の時等、もう夕方近いのにお年寄りから子供達まで「母ちゃん、しつかり」「ねえちゃん、頑

蛭谷婦人学級

蛭谷部落は南保地区の最南端戸数百三十余の集落部落であります。茲に蛭谷分校が有り隣接部落十六戸の児童をも収容して小学四年迄の教育の小型地であります。

戦后急テンポな日進月歩に後れまいと婦人の燃える様な求知心に応えて誕生したのが蛭谷婦人PTA学級です。児童教育については先生方にお願いしてはありますが、母師も何分の協力と思ひましたが何がさて教育の大改革に伴う新仮名遣ひ、当用漢字、メートル法、ローマ字等々、母師の若かつた時代との教育のズレによる無力さに困りました。こうして下さつたのは当時の分校主任沢田先生で、その御指導御骨折に依つて昭和二十六年一月丁度その頃流行し出した婦人学級の結晶となつた次第です。

爾來四ヶ年、毎年一月十一日から三月二十日迄週三回乃至四回の開催日を定めて児童教育に家族の保健栄養について、又、趣味の向上に学校の先生、知名の方を講師としてお願いし昼間行事を本休として来ています。が時に夜間に伝替える事もありまし

張れ」「まけるな」の応援する人等の熱心さに、之程までに普及されたことを、そして今までボールを手に持ったことのなかつた人等に、これまでに上達させられた体協指導員の方々の日夜を分たぬ普及に、実地指導に御努力下された賜と感謝致します。

最後にバレーは試合のためや、選手だけのものではなく、どこまでも一般大衆の心身共の健康をモットーとしてのスポーツでありたいと思ひます。線香花火のような一時的なものでなく尚一層協力して健康な文化農村を作られんことを切望して止みません。大家庄婦人会員大久保雪子

た。先生方には児童の教育にお疲れ
をも願わず熱心に心良く御指導賜り
一同深く感謝申上げて居ります。
辛ひ年を迫うて出席率も上昇し受
講態度も頗る熱心で皆さんから喜ば
れて今日に及んでいます。今後は益
々受講の婦人の卒任妥当な希望を基
に講習科目内容を改善し実績の向上
に努める様婦人一同張り切っている
次第であります。

郡民体育大会

去る七月二十四日二十五日の二日間にわたり郡民体
育大会が、各会場に於いて、開会宣言のあと、熱戦の
火蓋が切られ若人の！意気と力が全町にこだまし体育
朝日町の面目を新にして当大会も無事盛會裡に終了し
た。

【二十四日】

◆陸上 場所 小丸山公園グラウンド

(中学男子)

▲百米①寺崎(入善) 12秒8 ②谷口

(泊) ▲二百米①谷口(泊) 27秒2

②水口(黒部) ▲千五百米①福平(

境) 5分4秒1 ②佐原(黒部) ▲八

百米リレー①(泊) 1分55秒2 ②境

▲走幅跳①広川(泊) 4米95 ②山田

(黒部) ▲砲丸投①前田(飯野) 10

米39 ②大路(黒東) ▲走高跳①藤田

(小川) 1米52 ②村田(上青) ▲三

段跳①広川(泊) 10米59 ②高田(小

川)

(中学女子)

▲百米①松田(入善) 14秒82 ②林(

小川) ▲二百米①藤田(黒東) 31秒

3 ②松下(泊) ▲四百米リレー①(

黒東) 1分1秒2 ②(入善) ▲走幅跳

①林(小川) 3米94 ②愛場(泊) ▲

走高跳①川原(上青) 1米26 ②竹中

(泊) ▲砲丸投①山下(飯野) 7米

▲砲丸投①山下(飯野) 7米

(一般男子)

▲五千米①城崎(入善) 19分30秒



②松本(宇奈月)

▲三段跳①飯田12米13

(一般女子)

▲円盤投①川瀬20米47 ②上田▲やり

投①川瀬20米47 ②梅沢

◆相撲 場所 桜町公民館前

(中学の部)

▲中学団体①舟見②飯野▲中学個人

①山岡(舟見) ②浜西(入善)

(一般の部)

▲個人①水島(境) ②田中(桜町)

◆柔道 場所 桜町公民館

(中学の部)

▲団体①入善②舟見▲個人軽級①田

中(入善) ②山本(舟見)

▲中級①水野(舟見) ②松倉(入善)

▲重級①舟見(舟見) ②稲村(舟
見)
(一般の部)
▲無段①田村(桜町) ②山本(桜町)
▲初段①村田②藤谷
◆バレーボール
場所 大家庄小学校校庭

(二男男子)

①入善体協②泊高OB

(二女女子) ①泊高OB ②東紡泊

◆軟式庭球 場所 日東紡グラウンド

(二男男子)

①飯島・百々組(呉紡入善) ②白石

・松原組(北陸化工)

(二女女子)

①森山・橋本組(呉紡) ②小林・金

田組(呉紡)

【二十五日】

◆野球 場所 日東紡グラウンド

(二男男子) ①呉紡入善 ②日東紡泊

(中学の部) ①入善 ②黒東

◆卓球 場所 小川中学校

(中学男子の部)

①小川中(2)黒東中▲個人①西尾(舟

見中) ②上田(入善中)

(中学女子の部)

朝日町合併記念行事として朝

日町体育育会では、各区対抗バ

レボール大会及び少年軟式野球

大会を盛大に挙行政した。

八月一日 バレーボール大会

場所 大家庄小学校

優勝(男子) 大家庄チーム

場所 大家庄小学校

優勝(男子) 大家庄チーム

場所 大家庄小学校

優勝(男子) 大家庄チーム

場所 大家庄小学校

優勝(男子) 大家庄チーム

場所 大家庄小学校

優勝(男子) 大家庄チーム

場所 大家庄小学校

優勝(男子) 大家庄チーム

場所 大家庄小学校

優勝(男子) 大家庄チーム

場所 大家庄小学校

朝日町合併一週年記念体育行事

次勝 泊二区チーム

優勝(女子) 泊二区チーム

八月十五日 少年軟式野球大会

場所 小丸山公園グラウンド

Aコート

第一回戦

次勝 泊二区チーム

優勝(女子) 泊二区チーム

八月十五日 少年軟式野球大会

場所 小丸山公園グラウンド

泊高女バスケット晴れの全国大会へ

実を結んだ……たゆまぬ努力

去る六月十二、十九の両日、富

山商業高校で行はれた第八回

全国高等バスケットボール選手権大

会富山県予選並びに第九回富山県選

手権大会において、泊高女子バスケ

ット班は待望の優勝を飾り、八月七

日(土)一日まで、神戸で行はれる全

国大会に県代表として参加すること

になった。

町議会、朝日町体育協会、有志各

位、学校当局、生徒会、職員生徒各

位の物心両面の絶大なる援助を受け

神戸に出発……。

南保チーム 大家庄チーム

五ヶ庄チーム 笹川チーム

第二回戦 大家庄チーム 五ヶ庄チーム

Bコート

第一回戦 境チーム 泊一区チーム

境チーム 泊一区チーム

第二回戦 宮崎チーム 泊二区チーム

第二回戦 泊一区チーム 境チーム

優勝戦 001132000003 9

境 001132000003 9

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6

大家庄 000000060000 6



第一回戦には、四国代表高松高校
(香川県)と対戦、首一つ高い長身
と駿足になやまされ、善戦致しまし
たが遂に惜敗致しました。
郷土の有志各位の御支援を思い、
全く申訳なく思つて居ります。然し

負けたりとは云え全国大会に参加し
た幾多の経験を生かし、去る八月二
十二日の県民体育大会では再び優勝
しました。
来る九月十一日の国民体育大会県
予選には班員一同団結して練習に精
進する事を誓い、全国大会出場につ
いて示された物心両面にわたる御支
援にこたえたいと思ひます。

(泊高バスケット班一同)

朝日連青

連青団則一部改正案可決

委員会制廃し 理事会制採択

八月二十日臨時總會開催

朝日町連青では、八月二十日、朝日町役場議会議場に、臨時總會を招集、大家庄校下団より、提案され執行委員会に於いて、再三審議されていた団則一部改正案を、總會に提出、多岐決をもつて可決、即日施行した。

現行の委員会制を、地域活動の充実をはかり、理事制を採用されたもので、現在委員制では、連青独自の事業計画が多く、一部活発な青年団と、弱体校下団の結集がうまく行かず、連青結束に、かへつて支障を来たすものとして、提案されたもので、これにより、各校下団に於ける事業遂行は、中を広め、各校下の、地域的生活環境の中から、活発な運動の充実が期待され、連青躍進の上からも、総合的見地から、各校下団の完全育成をもつて連青向上を期さんとするものである。

尚、理事は、各校下より、二名の評議員は、各 男子二名 女子一名の割合で選出される。

新郡団長 魚津君(舟見)推挙
事務局長 此川君(宇奈月)

八月二十九日

初の理事会

団長 西島 友行 君

副団長 西村、藤田 事務局長 西田

(団長 西島君)



八月二十日、臨時總會に於いて大家庄校下団より提案された

連青主催で十月に町政懇談会開催
連青では、十月中旬「朝日町政の批判及び、明年度予算編成に対する計画等町民と町当局」と、一堂に会して、懇談会を開く。

町財政の確立、行政整理、企画の一元化等に相当成果を挙げつつあるが、今後の町行政に対する意義ある資料が生まれるものとして期待される。

理事会は今後も高田君の協力を約し、これを採択、朝日連青団長西島君より、理事會を代表して団活動に於ける高田君の功績をたたへ一同拍手のうちに散会、七月二十二日、舟見町役場にて、新団長撰出に入り、満場一致 魚津君(舟見)を推薦、新団長より事務局長此川君(宇奈月連青)指名、就任した。

第二回 連青体育大會

初優勝 泊校下団

八百、四百米繼走共：泊に...

八月十六日、盆休の絶好の日、泊小丸山グラウンドに、各校下団の精銳が参集、午前九時、開会式を挙行、去る十一日、突然他界された、朋友高田昇君に、もく頭を捧げ、彼の追悼の感深き第二回朝日町連青青年団の体育大會を、男子百米競走によつて幕を切つた。なごやかな風景をえがいた大会も、泊校下が二位の境校

男子	佐々木(泊)	五九秒
男子	兵庫(境)	六〇秒
男子	二入三脚 一位 笹川	二位(宮崎)
男子	走高跳	水島(境) 一米五三
男子	女子 折谷(笹川)	一米一五
男子	障害物 一位 泊	二位 笹川
男子	水入れ 一位 大家庄	二位 野中
男子	千五百米 加藤雄助(宮崎)	五分九秒
男子	ソフトボール投	
男子	一位 水島(境)	六六七米四〇
男子	二位 居波(泊)	六四四米五〇
男子	一位 沢田(大家庄)	三九米四五
男子	二位 金森(境)	三九米四一
男子	一位 南	保
男子	二位 大家庄	
男子	走中跳	
男子	一位 細田(泊)	五米一七
男子	二位 竹内(笹川)	五米一〇
男子	一位 折谷(笹川)	三米六五
男子	二位 水島(境)	三米四五
男子	四百米競走	

富山県青年大会に泊校下の演劇「水泥棒」三位に入賞

九月四日、富山市堀川中学校にて行なわれた全国青年大会富山県大会に、下新川郡代表として出場した泊校下団の演劇「水泥棒」が練習が短期間と、全員未経験を克服して見事三位に入賞、注目を浴びた。

出物物は「真給豊作の「水泥棒」これは各演劇サークルでは、かならず一度は取上げる位良い作品で、昨年の県青年大会に於いても上演され全国大会に於いても三・四の各県代表がとり上げていた。

題名にも示す通り、農村に於いてとかく問題になりがちな、灌漑用水がもたらす一こまを描いたもので、今迄の演出からして見れば確しかに進歩の度がうかがわれる。

県大会に於いて脚本としては、申分ないが、多くの演劇サークルがとり上げていて、観客の目が高く今後相当の努力がいらるとの事であつたがやりにくい劇と良く取くんだという事で好評された。近く各校下に出て発表する予定。

朝日町教育社会大会開催

各自主団体の実態を発表

来たる十月二十三日 連合青年団及び、連合婦人会 公民館 体育協会 ボーイスカウト等 各自主団体が参加、泊中学講堂に於いて、朝日町の社会教育機関の実態を発表し、相互の提携を図り朝日町社会教育全般の発展を期するため開催されるもので連青も参加する、終つて婦人会のレクリエーションも催す。

連青一ヶ年を回顧して

昨年九月、連青結成大会を以つて規約改正を行ない終戦後の社会状況の変遷から地域環境に即応した団活動の遂行に我々は努力をして来た。又、青年個々の個性の伸長には地域社会建設の礎となる様自らの創意により日常生活に、団運営に発展的であることはいふまでもない。

連青の組織も今や、強力体制を登え、総員三千人の団員を擁し、富山県有数の組織体として認識されて来たことは我が連青の発展途上に於ける一大成果ともいえるが、まして「青年の健全なる良識、修養、實踐に助言と援助を与へ、強固自主的な組織の育成をなし各校外相互の連絡協調と親睦を図り、団活動の地域社会に於ける重要さを理解し青年の負わされた使命の重大さを自覚し相互の信頼と友情により、強固なる提携を確立し、青年運動の発展向上を期し以つて郷土の民主化と日本建設に寄与する」との連青規約にのっとつて

強力なる団活動の発展に努力して来たことは外ならない、ここに於いて結成以来一年を振かえつて如何に我々団員が現在の朝日町連青たらしめたかを認識しても無駄でないと思う。昨年九月十日、結成大会、規約改正、運動方針決定、予算、役員選出、事業計画等十月十七日、結成記念運動会

軽快なリズムに來つて夏のコスチュームショー

富山文化服装学院と共催で



恒例の鬼退祭行事として、当連青

八・六 廣島大会に出席して

去る八月六日から三日間、広島で開かれた「原水爆禁止世界大会」に出席して強く感じた事を要約してみると、最初に自由国家、共産国家を問わず、世界各国からの平和を愛する代表が、一堂に会し、これ迄各国個々に進められて来たこの運動を

八月六日「原爆兵器禁止と戦争反対の平和の日」とし、強力にこの運動を全世界に拡げて行くスタートを切つたといふ事、この大会にあらゆる諸階級の人々が参加して、独自の立場から、終始和解と信頼の態度で



原爆ドーム

そして原水爆の被害者が今年になつても已に何千万人等一見るべき治療も受けることもなく、いわゆる原爆症で苦しんでいるという事。しかもその多くは、ケロイド（放射性熱傷）の為に、人目をさける生

- 優勝 境校下団
- 十一月二日 朝日町合併記念演芸会
 - 十二月四日 野中に合併記念演芸会
 - 二月十三日 朝日連青總會
 - 四月 ソフトボール大会
 - 六月 社会探訪
 - 七月 夏のコスチュームショー郡指導者講習会 教委立会演説等
 - 八月 第二回運動会 臨時總會等
- 数十回の行事を通じ至難な世代の青年としての認識と自覚を高め生活環境の擁護と民主社会の建設に役立つものと思ふ

と、富山文化服装学院と共催で七月一日午後二時より泊中学校講堂に約七百名の観衆を集めて開かれ、男子の方、大いに観迎の宜伝もきいてか場内は男女共真摯な表情で夏のコスチュームショーを観賞した。

文化服装学院生徒の演ずるモデルが軽快なリズムに乗つて、外出着訪問着、ふだん着、等を寸段なくお目にかければ場内は教師の解説とワルツの調べに興舞のルツボと化し、満場われる様な拍手のうちに五時過ぎ美の祭典の幕を閉じた。

朝日町教委…主催 キャンプ研修會

宮崎自然博物館内鹿島神社で



「バー」が持ったいまつの入場によつて点火された一しゆん、研修生の喜びに満ちた顔が明るく照り映えた。感激の夜の歌（遠き山）に始まつた。そして各班思いの歌や劇、又スカウト協力班によりスカウト劇であり、その間大宮泊公民館長の講話あり、楽しい夕の集いは、何時しか時計は進み、明日の訓練を思う。名残惜しく幕舎の中に消えて行く。

第三日は早朝駆けつけて下さつた池原社会教育委員、高校宮崎校長の講話及水泳、中食は坂東教育委員長

ボーイスカウト運動、特にキャンプ教育が青少年輔導のスローガンとして取り上げられるようになった今日に鑑み、日本再建の次代を荷う青少年を育成せんと朝日町教育委員会及ボーイスカウト下新川第二隊主催の朝日町小中学生キャンプ研修會は七月三十一、日午前九時朝日町宮崎鹿島の杜で各学校校長等多数の来客を迎え、研修新長朝日町教育委員会教長育大平勝雄氏の開所の辞に始まり研修生を代表し小川中学の辻栄君の力強い宣誓あり、選抜された二十九名の小中学生は三ヶ班に編成され、スカウト協力班と併せて四ヶ班によつて直ちにキャンプインした。

此の研修會は大平教育長村口BS隊長を正副所長に有能な所員や講師を中心に二泊三日の予定で各種の講義や訓練を行われた。

第一日はスカウト協力班の指導でテント設営実習に入り、終つて自己紹介があつた。大平所長の講義、閉所作業、清原BS副長の野営についての指導あり、夕食の飯炊きさんは始めてではあつたが、美味しくたけて夕食には一同舌鼓を打つた。

夜はキャンピングファイヤー及映写會（ボーイスカウト他三巻）と楽しい第一日を終つて午後十時就寝した。

第二日は宮崎公民館館長九里講師の指導のもとに自然博物館の見学、午後は井波BS隊長により野営救急法及水難救助法の実習指導を受け研修生は熱心に実習を行った。夜はグームソング及キャンピングファイヤーと野営の理念が着々進められる。ファイヤーは研修所最大の思出であるサンダにまつた「たき木」の周囲に坐る頃、鹿島の森は真暗、ヒソソリと静まる中、BS所員によつて、野営長の入場、火係（ファイヤーキ

をを迎え、所員研修生一同ライスカレに舌鼓を打ちながら、キャンプの思出や、反省を語り合い、お別れの食事はにぎわい、短い期間ではあつたが、正しいキャンプを学ぼうと語りはつきなかつた。

午後三時來賓多数を迎えて、清水教育長代理より修了証書が贈られ、坂東教育委員長より、此の度の実習を生かし、立派な青少年として、我朝日町の為に寄与されんことを望むと激励の言葉があつて、スカウト協力班の（光の路）の歌に應えて研修生は（鹿島の森にむつまじく、はげみ合はる道の友、今日は東に又西に、名残り惜しくも別れ行く」と歌声高らかに、研修生一同、宮崎地区より贈られた（鶴の浜焼）を家づとなつた。我が家へと帰路についた（写真は宮崎城址に於て博物館見学

第四回日米対抗水上競技大会が八月五、六、七の三日間神宮プールで開催。世界水泳界の視線が期せずして之に集中した。それは明年に迫るメーボルンオリンピック大会に於ける世界制覇の運命をトシ得るものとして過去三回の日米対抗大会の結果が例外なく之を裏證しているからだつた。日本としては今度こそはどうしても勝たねばならぬ一戦であつた。朝日町出身の長谷景治選手はこの大会に日本水泳の与望を擔つて出場したのだ。メドレーに於ける背泳、二百の背泳の成績如何は日本チーム優勝の重要なポイントの一つであるとは専門家の事前評であつた。八月三日午後四時、長谷選手後援会

日米水上大会に

長谷景治選手を訪ねて

谷 恭 文 記

長谷の金森町長の急便により役場に出頭。(突然だが今晩上野急行で長谷選手応援に上京して欲しい)との足下から鳥の語。池原副会長高島幹事長大平教育長とも協議済とのこと、切齒つまつての否応なしの話。到頭押し出される様になつて出発した。四日朝上野駅着。本拠を田村町の観光ホテルに定めた。このホテルは月山出身の西村清治氏の経営で五階近代洋風建築、和洋四十余の客室を持つ堂々たるもの。新橋駅銀座官庁街日比野公園へそれと徒歩で三分といふ地の利を占めている。氏は又快適豪華な国際観光自動車株式会社の社長でもあり、毎朝バスがホテル前を出発している。いつも満員であつた

西村氏にプチまけて話し道順等凡て御教示を仰いだ。先づ日本チームは神田の山の上ホテルに陣取つてゐることを知つた。早速電話で長谷選手に来意を告げ面会の都合を照会した。今日は最後の練習に午後四時ホテル出発、神宮プールに行く予定になつてゐるからそれ以前にとのこと。急遽文部省に松村文相を訪ね長谷選手の手を爲めに色紙をお願いした。こやかに構えられた文相はあの清藤高深な人格が醸し出す益々開気の裡に親切にお話し下されて色紙には長谷景治君の必勝を祈ると題し(雄飛世界)と雄渾な揮毫を下さつた。欣喜雀躍、この色紙を携えて山の上ホテルへ急ぐ。山の上ホテルは日航の

希望をもすべて会員七・八分許り、練習に出発の時刻が来たので健斗を折つて訣れた。五日、大会開会式は午後六時、それまでの時間を利用して在京の県人諸公と長谷選手後援会といふ命頭の下少しでも寄与したいものと町長の紹介状のある方達に電話連絡をしてみたが何れも不在、残念である。加藤清一氏を上野駅前地下鐵ストリア七階の帝都交通公社に訪ふ。加藤氏は今春東京都教育長の地位を勇退されて前記公社の常務監査役の要職に就かれたのである。長谷選手に對する在京県人の認識の程を承り之が後援についての協力を承りお願いした。宣伝の要ありといふことになつて御



指定旅館、駿河台の高台に在る豪華な構である。玄關脇の応接間で待つことしばし、身上一七〇斤、体重六四匁という立派な体格の長谷君現はる。町長始め郷土町民の気持、後援会の近況を伝へ松村文相の色紙を贈る。彼は非常に喜んで郷土の厚意熱援に應えるべく頑張ると固い決意を力強く語つた。コンデーションばと問えばニコニコしながら上々とのこと、言葉少の裡にも心中に期する強いものがあることが感じられて新記録樹立の予感が毒と胸を打つ。合宿生活は外部との接触絶対禁止とのことで選手監督の慎重極まる配慮に心中敬意を表し、厚意の押し売りは最負の引倒しと自を戒む。是非一度郷土を訪問して欲しいとの後援会の

多用中にも係らず、銀座銀ビル内の北日本新聞東京総局に案内して下さる。局長岸田二郎氏、通信部長長嶋孝一氏そして記者の堀内奎三郎氏に紹介された。堀内氏は笹川出身、政治探訪に敏腕を振つて居られる前途有望の青年記者と聞く。非常に熱心に何彼と親身になつて世話して下さい。田舎者には仲々至難な入場券入手についても手廻しをしてもらつた。又面会厳禁の山の上ホテルに出掛け選手が競技場へ出掛けるところを玄關前で待伏せて写真も撮られた北日七日の紙上に載つていたあの写真である。午後六時迄々大会開始。一万三千の観衆に埋つた神宮プールのその感慨

両国選手の息づまる接戦力斗振り、記録、そして観客の感激熱狂振りはその当時専門家によるラジオ放送新聞記事写真によつて詳細に報導されたのだから生半解な拙い私の報告はこの後も省略させて戴くが、唯長谷選手に関する部面だけを簡単に載録してみよう。長谷選手本日の出場は最低の四百米混泳泳、第一泳者として宿敵オヤカワと本大会最初の顔合せである。五十のターンは殆ど同時であつたが八十のターンからオヤカワ独特のスパートに一身長の差をつけられて引継いだ。オヤカワに及ばなかつたが、長谷の力泳は米側の予想を狂はせて日本メドレーチームを榮々と優勝に持込んだものとして功績を称えられた。六日、競技第二日目。午前八時過ぎ山の上ホテルの長谷選手に電話。昨晩の健斗を稿ひ本日の頑張りを激励する。お昼過ぎ北日總局に堀内氏を訪ね依頼しおいた入場券をもらふ在京県人会の理事長に電話してもらつたが折悪しく不在であつた。午後五時神宮プールに入場。六時再開、豪快な高飛込に始つた水の祭典が今宵も爽快な水シブキを挙げて進めなれて行くシウ雨を持つた雲低くトツプリとくれた夜空の下、こゝ神宮プールのみは水中照明の装置があるのか青色に澄んで頗る清艶、プールの全体がくつきりと浮び上り、昼を吹く地上のライトと相俟つてプール一廓は夢の世界。スタートの一瞬は円として声なく固唾を呑む緊張の静寂、号砲一発忽ちして沸騰する応援の叫喚、新記録発表毎に夜空をゆるがす万雷の拍手、そして總員起立の裡に表彰台に立つ優勝者に贈る国旗掲揚に伴ふ国歌吹奏の荘厳肅なメロデーの流れ、選手ならでも涙流るゝ感激のシーン。

長谷選手の出場は四番目、背泳百米である。オヤカワ、長谷、ウイギン、黒佐、マシキニーと五人の俊逸が相隣して競優美な背泳のレースだ。長谷スタートよく、五十のターンはウイギンと殆ど同時オヤカワ少し遅れていたが八十頃から彼一流の例の猛烈なラストスパートあれよくと見てゐるうちに長谷ウイギンを抜いてゴールイン。長谷ウイギンは何れが先ともわからぬ程に見えたが発表は同タイムで一分六秒二、タツチの差で長谷は三位。然し長谷は日本新記録、米はこの技目で三位まで独点の計算たつたとか、ところが長谷に一点を奪はれたことが三日目の米チームを固くならせて愈々敗因を増したことになるかと評されてゐる。度々裏はれたひどい夕立です濡れになつて帰宿。七日、競技第三日目。長谷選手得手の二百米背泳のある日。朝例の如く電話で昨日の善斗を稿ひ今日の新記録を祝福する、午後六時本大会最終日の幕があげられた、昨晩同様時折りすごい強雨に見舞はれるが今日も超満員の盛況、競技は日本優勢裡に進められて行く、息詰る競技の間にシンクロナイズトスイミングといふ芸術的水泳が七人の米国の娘さん達によつて今日も亦復上演。揃ひの派出な水着で音楽のリズムに乗つて或は集り或は開き、時に脚を上げしぶきを切り、もくつて美事な揃つた泳ぎ振りには全く水の精の乱舞、観衆奇しく恍惚として勝負の世界からしばし解放の態。長谷選手に最も期待する二百米背泳は六番目、百に優勝したオヤカワは割合に振はず、百で長谷に喰ひ込まれた十六才のマツキニーは見事な圧勝ぶりで長谷と共にすばらしい世界水泳記録を出した。(マツキニー二分二十四秒七、長谷二分二十五秒)

秒2)かくて長谷は茲に二点の得点を加へて日本優勝を不動のものにした。尚監督さんに面会をといつてみたが仲々多忙で早朝から出掛けて不在とのことであつたので、長谷君の今後一段と自重精進される様希望を語り、今秋の郷土訪問を堅く約束して帰郷した次第である。

午後九時競技全部終了。日本は選手の善戦力斗によつて得点總計四十四点。米三十五点といふ大差を以て戦後初めての優勝である。君が代表衆のうちに掲げられた日の丸の下、厳格な練習と和やかな閉会式、秩父宮様が同妃殿下から日本長沢主将に手渡されて大会は茲に有意義に幕を閉じたのである。

翌八日朝、長谷選手に又復電話して連日の力戦の勞と新記録樹立の功を慰勞感謝し日本優勝の喜を述べて一度會食でもと云つたが今後引続いて大阪・九州・四国・名古屋等の大会

消防署便り

台風期の火災豫防

連日のうだるような炎天も八月の声を聞けばそよ吹く風は五穀豊穡の香をのせて、秋近しを思はせる今日此の頃ラジオニュースは全国七千万石以上空前の大盛作が予想されることを伝えて暑さ何のその、唯折るは順調に取入れが終ることをのみ。

颱風季を目前にひかえ早場米地帯の当地ではその影響が幾分少いとは云え等閑に付する訳にはゆくまい。まして発生する災害規模の大きさに於て、颱風こそ、その随一と云わねばならない。

昨年九月二十六日黒部市で一瞬にして一億五千万円の損害を与へ、又

れ控えている為め合宿の生活管理は依然として緩和されてはいないとのこと、尚監督さんに面会をといつてみたが仲々多忙で早朝から出掛けて不在とのことであつたので、長谷君の今後一段と自重精進される様希望を語り、今秋の郷土訪問を堅く約束して帰郷した次第である。

今や長谷選手は水泳界に於て日本背泳の第一人者として愈々輝き世界の一流の背泳選手の地位を獲得したのであるが事ここに至る迄に苦心精進された長谷君のその修業態度こそは範とすべきもので郷土青少年に及ぼす感化影響は甚だ大きいものがあると思ふ。

吾が朝日町から斯うした人物が出たことは郷土の大きい誇であるが、前途尚ある若い彼の今後一層の精進に協力して、遺憾なくその天分を助

同じ日、北海道屈指の漁郡岩内町の大半を焼き百億の大損害を与へ、世界難史上第二番目の惨事と云われる青連函路洞爺丸や、十勝丸、日高丸の沈没等、大宇宙から見れば一陣の涼風にしか過ぎないであつたろう十五号颱風が通路に當る日本に数千億の損害を与えている。貧乏国日本には余りにも大きな損失と云わねばならない。災害は忘れた頃にやつて来る、と云われるが我が国に限つて忘れない内にやつて来ているのが現実である。

颱風による風害、水害、火災、今年もやつて来るであらう。颱風に備えて先づ私達は強風下の火災発生危険を排除して岩内町や黒部市の二の舞を演じてはならない。折も折、猫の手も借りたい農繁期であり、忙しさにまぎれて残火の不始末や、子供のマツチ遊び等は特に注意が必要である。

長發揮させ真に世界の第一人者に大成さすべく物心両面について後援することは縁につながる吾等郷土人の責任ではなからうか。

今度上京して上記以外にも数人の県出身の人達に會つたがその話を綜合するに長谷選手が富山県に有縁の人だといふことを知らない者が在京人の殆ど全部といつてもよいようである。最近まで県内在住人でさへそれを知つていた者が果して幾人居たであらうか、然しこれは過去に於ては当然と謂つてよからうが、今後は町後援会もこうした部面に対して一段の工夫宣伝の要があると思ふ。

在京中松村文相を始め西村清治・加藤清一・堀内奎三郎の諸賢に絶大な御同情と御同助を賜つたことを厚く感謝するものであります。

が出た時は何人も次の事項を守らねばならないと定められてある。

- 一、屋外の然え易いもの、近くで煙草を吸わないこと。
- 一、屋外の残火、取灰等を消すこと。
- 一、著しい火の粉を散らせないこと。
- 一、屋外で焚火しないこと。
- 一、屋内に於ても電灯やその他已むを得ない火の使用だけに止めること。
- 一、初期の消火や飛火警戒に必要なバケツやぬれ巾着等準備すること。

等であるが颱風の場合はもっと強化した処置が必要となる。

屋外の火は全部消すこと。屋内の火で真に已むを得ないものはすぐ消せる用意をしてそれ以外は全部消す。

颱風の程度、例えば建物の倒壊や周りの雨戸等が破られる危険のある時は絶対に火種を残しはならない。

北海道岩内町の大火は消さないで

プロパンガスと火災予防

灰をかけておいた火鉢の火が建物倒壊で飛散した為であると云われている。又黒部市の大火は颱風下に不完全な煙突に火をたいた為に発生した。

消防署では七月末から約一週間に亘り泊分団の応援を得て泊地区の消防警察を実施したが指示を受けた箇所は是非修理下することを御願います。その他防火用水をバケツ其の他の容器に満しておくこと。

一 停電に備えて懐中電灯等用意しておく

二 危険物は最も安全な場所に保管すること

三 電気引込線がトタン屋根、樋、板等に接して漏電火災を発生することがあるから、腕木が腐つたり線がたるみ過ぎていないか風の前後や、嵐が過ぎてからも点検すること

四 嵐の後煙突が風のため亀裂が出来たり傾いていないか、よく検べてから火をたく等である。

即ち 颱風初期は異状乾燥する。当地方に防火上不利な南西の風が多

農家には稲やわら等燃え易いものが取り込んである。

農繁期の為火の始末がおろそかなり易い。

子供が留守番をしたり。大人の目から離れ易い為、マツチ遊び等の機会が多い等。悪条件が重なり、火災危険度が非常に高いと云うことがいえる。

又、颱風による樹木やハサの倒壊で消防自動車の通行困難も考慮してハサはなるべく道路から離れて立てられるよう御願ひする。

一時非常な勢で流行した石油コンロも一応落ち着きを見せ、最近ではプロパンガスが台所のちよいと見として登場しつつある。何れも危険物であり、消防法や、高圧ガス取締法の適用を受けるものであるが、一般家庭では不馴れと、知の識不足による不慮の災害の発生を未然に防止する為に充分の注意が必要である。石油コンロが普及途上に於て火災寸前に至る失敗が頻々としてあつたようにプロパンガスも又被害が起きている。即ち火災のみならず容器的爆発による人命の損傷と言うことも考えなければならぬので、使用される方は充分プロパンガスの性質や、使用法を知悉することが肝要である。

プロパンは無色無臭の気体であり常温常圧下では空気の約一・五倍の重さであるから、もれておつても気がつかないことがある。中毒性はないが、麻酔性があつて多量に吸うと死に至ることがある。容器弁及元弁、及びコックの開閉には特に十二分の注意が怠つてはならない。

容器及調整器は必ず屋外に設置する。そして転倒、転落、直射日光、火気等をさへぎり温度は四〇度以下に保つことを忘れてはならない。

使用後の弁及コックのしめることを忘れないようにすることは前にも述べた通りで、火災は勿論、人命にも危険を及ぼすことがあるから。

又ガスがもれている時は、附近の火気は一切急速に消すことにとつて窓を開いて換気しなければならぬ。附近に火災が発生した場合は、容器弁をしめて安全な場所へ運ばねばならない。



優生相談室

朝日町に拾う

受胎調節問題の点

最近人工妊娠中絶は加速度的に増加し母性の健康保持上受胎調節の必要性が叫ばれているにもかかわらず出生数と妊娠中絶受胎数と加へると前年の出生数を上廻る。

現状で受胎調節によつて出生数を減少させる段階にはまだ遠い様に思われます。昭和二十八年に於いて全国で最も妊娠中絶率の高い所は富山県であり富山県中で一番高い町村は下新川郡朝日町旧泊町で六四%でいわずに全国第一と云ふ事になります。人工妊娠中絶の増加は優生保護法の普及徹底したことを物語るものであるが又反面においては分娩を望まない人が尚多数妊娠している事又これによつて中絶した者が更に妊娠しているのではないかと云ふ事が窺われる。朝日町保健婦が何故受胎調節の進展しないのか、之の実態を把握し受胎調節の推進を図るべく基礎調査を本年一月と二月の農閑期を利用して行つたもので調査対象者は既婚者三〇二人に基くものであります。

①職業別より見た受胎調節の実施している人、していない人種別		②受胎調節の知識と使方種別	
割合	人数	職業	人数
44%	42	公務員	48
42%	30	会社員	93
30%	15	農業	80
17%	17	商業	47
32%	32	日計	34
		計	302
		実施した	27
		実施しない	54
		合計	81
		知識の有無	205
		知識の有る	21
		知識の無い	39
		合計	60
		使方の有無	7
		使方のある	6
		使方の無い	1
		合計	7
		知識と使方の有無	97
		知識と使方の有る	28
		知識と使方の無い	69
		合計	97

受胎調節史話

黒部保健所朝日支所 経田良秀

我が国の人口は、現に一日約二千八百人ずつ増加しています。一年間に百万人餘りが増え（これは富山県と大體同数人口）十年後には一千万人以上の増加となり、総人口では一億近くにも激増することになります。狭い国土と資源の乏しい我が国にとつて人口過剰問題は、極端なところまで来ています。この対策として、政治に経済に産業に、あらゆる方向から現在及び将来の重大課題として考究されて居りますが、その一環として、今日盛んに叫ばれているのが、計画産児即ち保健所が今年節運動でありつて、受胎調節運動の起り、今から約七十五年前、明治十二年頃、オランダのアレタ、ヤコブスと云う女医さんが、避妊相談所をつくつたのが初まりなのですが、實際にはそれより約三十年後アメリカのマーガレット・サンガー夫人が、出産に一定の間隔を持つた家族を制限する、所謂計画出産の運動をアメリカを本拠として産児制限連盟を創り、

を打たねばならないと決心して以来、当時これを禁止する法律と戦ひ、幾度か投獄の宣告を受けながらも、自から「反逆婦人」と名乗り、あらゆる困難にも屈せず、この運動の合法化に努めた結果、今日アメリカでは各地の産児制限連盟は、統一されてアメリカ計画出産連盟となり、その支部は全アメリカで二百の相談所を設けています。この運動の合法化について特筆されるべき動機があつたのです。それは今から二十五年前の昭和四年、チユリツヒでの国際医師会議で、日本のある避妊具が展覧されたのです。この器具は臨床研究所の試験するためにチユリツヒへ送られたが税関でひつかつたのです。そこで次には免許のある医師なら受け取るだろうと考へて、ストーンと云う博士にあつて送られたのです。ところがそれがそれと認められてしまつたのです。アメリカの一法文は、避妊に関するいかなる物件も輸入することを禁止してゐたのです。サンガー夫人はこの一件を試訴すると、サンガー夫人はこれに依り、結局最後は法廷に医師は自分が患者の幸福のために用いられると考へるいかなる物でも、郵便で送つたり受け取つたりする権利を与へられてゐると云う判決が下り、それまで十年間にもわたつて古い法律を修正しようとする法案が、議院が開かれる度に提出されたがいつも古い反対者達の頑固な手で、握りつぶされてゐたのが、法廷のこの判決で、實際上古い法律は死文化した訳です。

我が国で計画産児の運動が始まつたのは、明治四十四年アメリカからサンガー夫人の主張に共鳴して帰つた加藤シズエ女史が起したのが最初ですが、一般的に普及したしたのは大正十一年の春、サンガー夫人の来朝の時からであります。最初政府は「あさひ」第二号は、朝日町発足一周年記念特集号として編集をおえて、漸く発刊の運びとはなつたものの、近年稀に見る猛暑は、編集室にも容赦なく襲つて居りますこと、お盆休みや、お盆行事など多々にあつて編集者思ひ程にペンも進まず、至極平凡な編集と相成りまして、汗上のに汗して居る次第です。

残暑猶去らずと云へども穂首の重くたれる稲の次外次と刈り取られていく状は何とはなしに人の心を明るくものにさせて呉れる。

あとがき

